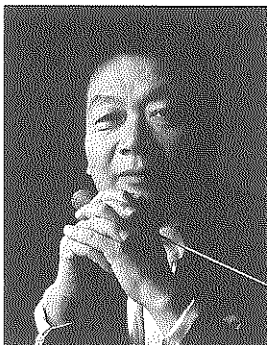


東京ユニバーサル・ フィルハーモニー管弦楽団 第29回定期演奏会

日本指揮界の重鎮、三石精一率いる東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団（以下ユニ・フィル）が第29回の定期演奏会を開催する。今回はオール・レスピーギ・プログラムで、華やかなオーケストラサウンドをたつぷりと届けてくれる。三石氏からコメントを頂いたので紹介したい。

「前代未聞の大震災で、地震と



三石精一

大津波に加えて原発事故迄が引き起こされ、壊滅的な被害を受けられた多数の方々がいらつしやるのにも拘らず、我々のオーケストラの事などを書かせて頂く事に申し訳無い思いが一杯です。

被災されました多くの方々に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧がなされます事を心からお祈りしております。

ただこのような時にこそ、音楽の持つ、人間の心を癒し励ます偉大な力が何かのお役に立てるので、はないかと信じておりますので、どうかお許しを頂きたいと思っております。

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団の次回定期は5月19日（木）19時より東京文化会館で行います。プログラムはイタリア統一150周年に相応しい曲というコンセプトの下、イタリアの全オーケストラ作品の中で一番オーケストレーションが絶妙で曲調も変化に富み、明るく華やかで楽しいレスピーギのローマ三部作を選ぶ事にしました。

古代ローマから、現代のローマに至る様々な時代、時刻、場所、情景を巡るこれらの曲は、さながら

ローマ観光旅行をしている様な気分をお客様に味わって頂ける、この上なく素晴らしい作品だと思います。

しかし、当然の事ながら風景や情景を描写した音楽ですから、精神的な内容の深さを求める事は不可能で、次々と変化する多彩なオーケストレーションで表現されるローマの多面的な表情を充分に楽しんで頂く事を目指しています。客席や舞台裏でも色々な楽器が演奏に加わり音楽を盛り上げます。

最初に演奏する『リュートのための古風な舞曲とアリア』第三組曲は、ルネサンス時代のリュート作曲家達の作品をローマの音楽院の図書館で見つけたレスピーギが、それらをもとに作曲した三つの組曲の一つで、この第三組曲だけが弦楽合奏になっていますが、演奏される機会は一歩多い作品です。ダヴィンチやミケランジェロの時代の雰囲気漂って来る思いがします。

当団の秋の定期演奏会は第30回記念として、フランスの曲ばかりを予定しています。

9月23日（祝）の14時からサン

東京ユニバーサル・
フィルハーモニー管弦楽団
第29回定期演奏会 (東京文化会館50周年記念参加公演)

〈ローマの祭り〉

オール〈レスピーギ〉プログラム

レスピーギ

指揮：三石精一

- リユートのための古風な舞曲とアリア III
- ローマの松 ●ローマの噴水 ●ローマの祭り



5月19日(木) 19:00 東京文化会館

S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000 D ¥2,000

ペア席 ¥12,000 主催：NPO法人 ユニフィル自主公演運営機構

ユニフィルチケットセンター 03-3632-3572

<http://www.mitsuishiseiichi-uniphil.com/>

トリートホールで、ドビュッシーの『牧神の午後への前奏曲』、花房晴美さんのソロで、ラヴェルのピアノ協奏曲ト長調、ベルリオーズの『幻想交響曲』を演奏する予定です。」
(三石精一)

日本オーケストラ連盟にも加入し、ますますの発展が期待されるユニ・フィルの熱い演奏に期待したい。本公演は東京文化会館50周年記念参加公演でもある。

♪曲目「レスピーギ／リユートのための古風な舞曲とアリア第3組曲、交響詩「ローマの松」、「ローマの噴水」、「ローマの祭り」

♪5/19・19時、東京文化会館

♪ユニフィルチケットセンター

(☎) 03-3632-3572、www.uniphil.gr.jp/